



徳成寺 寺もかわら版

第134号 2018年 2月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

仏様の智慧には、あらゆる人々を貫くものを知る一切智と

あらゆる人々の独自性を知る一切種智いっさいしゅちの二種類があると説かれます。

人間全体を貫くものと、個々別々の両面を知ることをもって仏様の

智慧が語られるのです。私自身、お寺を通じて多くの方々と出会わせて頂き、

時間的にも少なからずお付き合いさせて頂いていますが、個々の皆さんの

生きてきた背景・価値観・思いなど、何も知り得ていないとあらためて気づかされ

ています。一切種智ということが全然頂けていないのでございます。

もっともっと一人一人の存在に、耳を傾けまなざしを向けて参りたいと

精進する覚悟でございます。よろしく申し上げます。

発行責任者
住職
大山健児
坊守
大山ひとみ



*子供おつとめ本を、ご希望の方はご一報下さい。

大山超世の耳を澄ませば

どうも、長男です。東京に居た頃、趣味で音楽活動をしていた事がありまして、この紙面を使って少し紹介をしたこともありました。その音楽活動の関係でこの1月、地元のラジオFM高松にラジオ出演してきました。

人生初ラジオは非常に緊張しましたが、メインパーソナリティーの方にフォローを頂きながら何とかやり切りました。

収録終了後、得意分野ましてや趣味の事なのに、魅力が伝えきれていないと感じたり、もっと上手く話せたのにとか、気の利いた事が言えればとか色々と後悔が浮かび上がります。それと同時に最初から上手く行くとはいってなかったですが、今後機会があればもっと上手く魅力が伝わるような話し方ができるように、日々練習したほうが良いという気持ちも出てきました。捉え方次第で、人はどのようにもなるという事を理解する良い機会だったように感じました。

